

# シグマ研究委員会

## 昭和58年度第3回運営委員会議事録

日 時 昭和58年7月22日（金）13：30 - 17：30  
場 所 原研本部第7会議室  
出席者 原田（委員長，原研）  
白方（動燃），梶山（東北大），関（FBEC），中沢（東大炉），  
中嶋（法大），村田（NAIG），五十嵐，菊池，田中，松浦（原研），  
オブザーバ，鹿園，松本，浅見（原研）

### 配布資料

1. 前回（58.6.17）議事録（案）
2. Activities of Japanese Nuclear Data Committee
3. 1983年核データ研究会のプログラム委員会案
4. NEANDC 第24回会合関連事項
5. T.R. England 氏から吉田氏への手紙およびその返事（写）
6. NE（83）10 ANNEX I

### 議 事

1. 前回議事録の確認  
資料1により確認を行い，一部訂正のうえ了承された。
2. 事務局報告
  - (1) プロGRESSレポート中間報告  
五十嵐氏から中間報告のなかで，今迄シグマ委員会の activity の紹介を余りやらなかったが，今回は資料2のようなものを用意したので意見があったら連絡して欲しいとの説明があった。
  - (2) 委員会旅費等  
7月末までの使用状況の報告があった。
  - (3) 委員会発令の現状  
未だ委員会発令の手続きが終っていない委員や依頼状を再発行してもらった例などについて報告があった。
3. 学会特別会合  
梶山氏から本年秋の原子力学会の際の核データ・炉物理合同特別会合のプログラム

が次のように決まったとの報告があった。

座長 松延廣幸氏（住友原工）

1. アクチノイド核種の核データ評価修正のためのFCAにおける積分実験

向山武彦氏（原研）

2. 原子炉解体における核データの必要性

松浦祥次郎氏（原研）又は江連秀夫氏（原研）

これに関連して、講演2で扱う範囲について議論があった。

4. 2年報準備委員会報告

松本氏から、準備委員会では前回に報告したタイム・スケジュールに沿って作業を進めており、執筆者に8月末締切りで依頼状を出したとの報告があった。

5. 核データ研究会プログラム

中沢氏から、資料3によりプログラム委で検討した結果について報告があり、プログラム案について詳しい説明が行われた（内容については省略）。これに対して次のような議論があった。

- 国際化指向と言っても、呼び掛けをしないと集まらないのではないか——国内にいる留学生等を考えている。
- ポスターセッションと会場との関係は——ABC会議室のCの部分を用意している。
- 「トピックス」に関連して、circularや参加者の範囲をどう考えているか——とくに討議はしていないが、核データ研究者を対象にしている。
- ポスターセッションにはまとめ役がいた方が良い。
- JEFとか医学用核データのことも採り挙げたらどうか。

なお、中国へ案内状を出すかどうかに関連して、梶山氏から大学関係での中国との交流のアプローチの現状について説明があった。また、原田氏から今回は正式な案内状は出さないが、大学関係者が個人的に情報を伝えることは何ら支障はないとの説明があった。

研究会のプログラムについては、プログラム委でもう一度検討して貰い次回にまとめることにした。

6. NEANDC 第24回会合

五十嵐氏から資料4にもとづき、会合の関連事項について次のような説明があった。議長に開催期日（59年3月12日～16日）等を問合せたところOKの返事が来た。topical conferenceではfusion用核データを採り挙げたらどうかとの意見があったが、

これまでの方針通りでやってもらうことにした。ホテル等の検討を始めている。ローカル・セクレタリーには原研の者が当るが、オブザーバは activity の紹介と言う観点から選出したらどうか、専門部会長、WG リーダを中心に検討したい。これに関連して、資料 6 により会合での討議項目の説明があった。

なお、会合の時期までに時間があるので、これらの点については改めて議論することにした。

#### 7. England 氏からの依頼の件

松本氏から資料 5 にもとづき、England 氏から fission product yield のデータの収集・評価作業について日本が協力してもらえないかとの要請のあったことが報告された。また、中嶋氏からこの件についての国内研究者の意見などの補足説明があり、討議を行った。その結果、具体的にはっきりしない点もあるので、今回はアナウンスに留め、吉田氏に BNL の会議の際に情報交換をしてきてもらうことにした。

#### 8. 専門部会関係事項

菊池氏から過日行われた核データ専門部会内の WG リーダの会合の報告があった。これに関連して JENDL-2 データのプロット図を早く出版するようにとの要請があり、ファイル作成 WG で検討することにした。

炉定数専門部会の関連として、中沢氏から DDX サブ WG の現状の報告、菊池氏から遮蔽サブ WG の現状についての報告があった。

#### 9. JENDL-3 作成推進方策について

五十嵐氏から JENDL-3 の作成を促進させるための方策について検討する必要があるとの発議があり、討議を行った。浅見氏からはファイル作成 WG で行っている JENDL-3 データ評価の分担表の作成の現状について説明があった。また、菊池氏からガンマ線生成核データの評価の進行状況の説明があった。討議の結果、評価の分担表を早急に完成して貫い次回の運営委で検討することにした。

原田氏から JENDL-2 の FP ファイルの編集、JENDL-2 のレポートの作成、JENDL-3 のデータ評価・編集についてマスター・スケジュールを作成して欲しいとの要請があり、菊池氏が核データ専門部会の各 WG に図って作成することになった。

#### 10. その他

松浦氏から IAEA で safeguards の handbook をつくるために核データに関して意見を求められているとの報告があった。

次回は 9 月 2 日（金）に東海研で行う予定。